

だいねんじやま

大年寺山

静かな空気に包まれた、伊達家ゆかりの旧跡

大年寺山は標高120mの丘陵。名前は仙台藩四代藩主伊達綱村公が開いた大年寺に由来します。市指定文化財の大年寺惣門をくぐり抜け、都会の喧騒を忘れるような、鬱蒼とした木々に囲まれた長い石段を登り、右側にあるベンチやあずまやの間を歩いていくと、仙名城跡や仙台の市街地、太平洋を一望

できる展望広場があります。さらに先には綱村公の遺言により設けられた墓所「無尽灯廟」があり、綱村公のほか、五代吉村公、十代斉宗公、十二代斉邦公とその夫人たちが葬られています。春は惣門付近に桜が咲き、華やかな雰囲気になります。

奥津城の昼のしづけさ冬の鳥
小林里子

心拍数はインターハイへ
浅野佳子



▲桜々に囲まれた惣門



▲大年寺山 遠景



▲惣門と奥につづく石段(撮影:白石晴彦)

ひとことメモ

大年寺山は、新幹線から見える「鉄塔と森の風景」としても市民に親しまれています。仙台市保存樹木「大年寺山のうば杉」や仙庵、茂ヶ崎庵といった茶室があり、閑静な佇まいを見せています。

アクセスガイド

- 仙台駅西口バスプール11番のりばより仙台市営バス610系統「野草園行」などに乗車、「野草園前」下車すぐ
- 仙台駅西口バスプール11番のりばより仙台市営バス620系統「長町営業所行」に乗車、「大年寺前」下車。徒歩3分

● 所在地：太白区茂ヶ崎

太白区マップE

